

懐かしい思い出が詰まっています。

校長室の金庫やロッカーには、加太小学校の歴史を残す資料や写真がたくさん残っています。それら一つひとつを紐解いてみると、運動場のバックネットや遊具が設置された様子やプールや講堂の建設の様子、現在の体育館のところに当時の教員や児童が協力して観察池を作っている様子など、驚きと発見があります。

毎年作成される「卒業アルバム」は、昭和30年前半のものから現在に至るものまで書棚に約70冊保管されています。約70冊のアルバムには、子どもたちのお父さんやお母さん、おじいさんやおばあさん、親戚のおじさんやおばさん、近所の方の小学校時代の姿が記録されています。

○昭和30年代は、B5判6ページに製本されたものでした。教職員や児童の集合写真や修学旅行やクラブ活動の様子がコンパクトにまとめられています。表紙の「卒業記念写真アルバム」「関町立加太小学校」の文字に歴史を感じます。

○昭和40年代からは、児童数が少なく一人当たりの費用削減のため、市販のアルバムに現像写真を貼り付けて児童分を作成しました。平成15年からは、学校のデジタルカメラで、教師が撮影し、パソコンで作成した各ページをアルバムに貼り付けました。

○平成20年になると、インターネットを活用したアルバム作成業者が参入するようになり、業者から送られてくる卒業アルバム作成用のフォームに画像や言葉を入れ編集を依頼するようになり現在も続いています。

児童の数が少ない加太小学校は、アルバムに係る制作費を少しでも抑える様々な工夫をしてきました。

小学校生活6年間の大切な思い出であり、加太小学校の歴史の記録として大変貴重なアルバムです。いつまでも大切に保存していきたいと思うとともに、加太小学校の歴史と思い出の詰まったアルバムを見ていただける機会を作ることができたらと考えています。



昭和30年度版



平成30年度版